

科目名		応用測量			
担当教員		稲田 巧		実務授業の有無	有
対象学科		環境測量科	対象学年	2	開講時期
必修・選択		必修	授業形式	講義	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		社会に出ると応用測量作業が多くを占める。今まで学んできた基礎的な測量技術を確認しながら、より実践的な測量技術をしっかりと身につける。			
学習目標 (到達目標)		今まで学んできた基礎的な測量技術を確認しながら、より実践的な測量技術をしっかりと身につける。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		受験テキスト : 日本測量協会 公共測量作業規定の準則 他プリント、資料を配布する。			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	路線測量①			路線測量の基礎、路線の構造、中心線測量、IPの設置、仮BM設置測量、縦断測量、横断測量について理解する	
2	路線測量②			単曲線、クロソイド曲線、縦断曲線の基本的な計算ができるようになる。	
3	用地測量			用地測量の目的及び重要性を理解し、境界線の整正計算が出来るようにする	
4	河川測量			河川測量の基礎、高低測量(縦断・横断・深淺測量)、流量測定について理解する	
5	工事測量			工事測量基礎を学び、盛土・切土・側溝などの工事に必要なやり方(丁張)を設ける方法について理解する	
6					
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
	%	%	取組姿勢 5 %	評価テスト 95 %	土木・測量業界ともに、社会に出ると応用測量作業が多くを占めるので、確実な技術を身につけよう。
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		測量会社にて測量業務24年			